

焼岳火山の現地調査を実施しました。

平成29年6月17日

国土交通省北陸地方整備局
松本砂防事務所

松本砂防事務所は平成29年6月17日(土)、焼岳火山防災協議会が主催する、焼岳の火山活動状況確認及び京大による焼岳火山観測状況の確認を目的とした「焼岳現地調査」に参加しました。

国、県、市をはじめとする協議会メンバー総勢31名(長野県側から13名、岐阜県側から18名)による現地調査では、焼岳における地形状況や火山噴出物、既施設設の状況等を確認しました。また、京都大学防災研究所の大見先生より、火山観測機器(地震計、傾斜計、高精度地中温度計など)やデータ取得状況等の説明を受けました。

また、京大が当日UAVを飛ばし、山頂部を撮影する様子も見れて、立ち入りが難しい現場の撮影をすることができ、UAVの可能性を改めて感じました。今回、協議会の関係機関と焼岳に登ることで、焼岳火山の観測状況について情報共有ができた、有意義な調査となりました。



焼岳火山ハザードマップ(松本市HPより引用)



登山道より、上々堀沢



上々堀沢源頭部より上高地



山頂からの噴煙

現地調査状況



頂上から臨む上高地

京大火山観測機器の視察



頂上付近の伝送、給電装置



火山観測機器